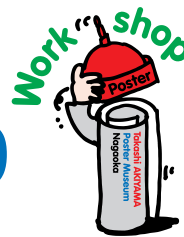


Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-02-04

APM 秋山孝ポスター美術館 長岡
歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

Workshop news 009



第9回APMワークショップ

ポスターを描いてみよう～ぼく、わたしの夏 2015～

8月8日 (土) pm 1:00～3:00/会場: APM/参加者: 12名/講師: たかだみつみ/スタッフ: すずめ隊2名

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233
<http://apm-nagaoka.com>



ポスターを知る

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は名前の通り、ポスターを研究している美術館です。展示室内の壁いっぱいにポスターを展示しています。この日は「秋山孝の神秘～メタファー～展」を開催していました。ポスターは、情報を伝えるという役目をもっています。秋山のポスターにも1枚1枚にメッセージが込められています。ワークショップは、展示されているポスターにどんなメッセージが込められているのかを読み取る事から始めました。例えば、APMのある宮内・摂田屋地区の建物を描いたポスターは、地域を紹介し、素晴らしさを伝えていきます。悪魔の口から水が吐き出ている様子を描いたものは、原発の汚染水垂れ流し問題を表現したポスターです。秋山の作品は、メッセージをよりわかり易く伝える為に、他のものに例えるという表現技法

が使われています。

ポスターを描く

ポスターについて学んだら、今度は参加者自身でポスターを描いてみます。テーマは「夏」です。この日は夏真っ盛りの暑い日でした。夏休み中ということもあり、多くの参加者が集まってくれました。この夏の思い出、感じたこと、やりたい事など、人に伝えたいと思うメッセージを各自1つ決めました。では、実際にポスターを描いてみましょう。今回は、B3サイズのポスター用紙を用意しました。用紙には、枠とタイトル「Summer2015～ぼく、わたしの夏～」という文字が印刷されています。その中にメッセージを伝えるための絵を描きました。文字を書いた人もいます。

伝える

ポスターは人に観てもらい、そこに込めたメッセージを伝えるという事が重要です。出来上がった作品を順番に発

表してもらいました。そこには様々な

「夏」が表現されていました。カブトムシ採りの思い出をダイナミックに表現した作品、好きなスイカで顔を描いたユーモアのある作品、猛暑日が続く夏だったため、水分補給を訴える作品もありました。

私達の生活の中には、多くの情報が溢れています。その伝達方法は様々です。今回は、「伝える」という手段は言葉だけではなく、絵でも可能であるということを実験してもらえたのではないのでしょうか。日々の生活の中で私たちはたくさんの事を感じ、たくさんの事を考えます。自分の中にわき上がったメッセージをどんどん発信してみましょう。それはどんなささいな事でも構いません。すると、あなたのメッセージを受け取った人から新しいメッセージが返ってくるでしょう。

(たかだみつみ・APM学芸員)

<材料・道具> ・ポスター用紙 (B3) ・アクリルガッシュ ・クレヨン ・鉛筆 ・筆 ・ペーパーパレット ・筆洗バケツ
・下書き用紙 ・B3パネル ・クリップ ・タオル ・ビニール袋 など